

アンケートでは、4321の段階評価だけでなく、文章表記によるご意見・ご感想、そして学校への励ましのメッセージをいただきました。ありがとうございました。

紙面の都合上、全ての内容を記載することができませんが、大まかなご意見とご感想、および学校評価のまとめと今後について掲載させていただきます。

## 学校に対していただいたご意見 と ご感想 (抜粋)

### 【感染症対策・学校環境について】

- 密にならないように、参観日等の対策を徹底してほしいです。
- 運動会では、密にならない工夫がされていてよかったです。
- 手洗い・うがいなどの衛生面での徹底をもう少ししてほしいです。

### 【行事等について】

- 保護者が学校に行く機会が減っているので、子どもたちの様子が分かりづらいです。
- コロナ禍でも、参観日、遠足、運動会をやらせてもらってよかったです。
- 行事に対して柔軟に対応してもらえてありがたかったです。
- まち探検や「秋見つけ」を楽しんでいました。
- 運動会は、平日の分散開催で密にならずによかったです。
- 運動会は、午前中に終わったので、昼食準備等、保護者の負担がなくて助かりました。



### 【学習・生活面】

- 先生の様々な場面での声かけに感謝しています。
- 子どもたちを温かく見守っていただきました。

### 【コロナ禍での学習・ICT化について】

- 分散登校でiPadがあったことが有効でした。
- iPadを通常登校にもどってもしっかりと活用し、オンライン化をさらに進めていってほしいです。
- ネット接続のマナーを家庭だけでなく、学校でも指導してほしいと思います。

### 【情報の共有について】

- 学校だよりや学級通信で、学校の様子を知ることができました。
- 学校生活や授業の様子があまり見えてこないもので、情報がほしいです。
- 天候による柔軟な対応をマチコミですてくれて助かりました。

### 【その他】

- 子どもたちのあいさつができていないことが気になります。
- コロナ禍で、他の保護者や子どもたちの顔が見えずに不安になります。

## 学校評価のまとめ と 今後について

### 【教育効果が上がってきたもの】

#### ◆行事等における教育活動の工夫◆

昨年度から引き続き、運動会や宿泊体験学習など、工夫して開催することになった1年間でした。保護者の皆様のご理解とご協力のもと、活動内容を柔軟に増やしつつ実施していくことができました。



子どもたちも、この状況の中、従来のものを簡略化して行うのではなく、新しいものを創り上げる努力をしてきました。例えば、委員会活動では、あいさつ運動を再開したり、シールの配付で全校の意識を高めたりしました。運動会では分散開催したことで、6年生と5年生がそれぞれの日にリーダーとして活躍することができました。また、この取組から、5・6年生のつながりができ、高学年として三ツ沢小学校を引っ張っていくという意識が高まりました。縦割り活動においても、「なかよしタイム」を新たに設定し、6年生が活躍できる場を増やしました。このことにより、学年を越えた交流の機会が増え、学校内でも子ども同士で声をかけ合う姿が見られました。できるだけ、子どもたちの自己決定の場を設け、一人ひとりの思いが実現できることを大切にしながら取り組んでいるところです。

### ◆特別支援教育や人権教育の充実◆

国際教室やニコニコルーム(少人数学習支援)の活用により、個に応じた対応ができるようになり、子どもたちの成功体験や成長の実感にもつながっています。担当者と学級担任が情報を共有し合うことで、より支援の内容が深まっていることを感じます。

また、道徳科や人権週間の取組から、互いを尊重し合い認めえる環境づくりをしてきました。人権週間では、特別支援学校の先生に来ていただき、コミュニケーション一つとっても、人それぞれ違うことを理解し、想像力と思いやりをもって接していくことの大切さを学びました。子どもたちが違いを自然に受け入れ、安心して学校に登校できるように心がけていきます。

## 【教育効果をさらに上げていきたいもの】



### ◆ICTの活用◆

ICTの活用についても、教育計画にしっかりと位置づけ、子どもたちの資質・能力の育成のために、活用の場を増やしていきたいと考えています。この1年間で、子どもたちがiPadを自然に学習の中に取り入れる機会は増えています。操作の仕方にも随分と慣れてきました。学年ごとの系統性も大切にしつつ、活用力を積み重ねていきます。

### ◆「あいさつ」◆

毎年、学校評価では、「あいさつ」についてご指摘をいただいています。朝、職員は、昇降口や正門で子どもたちを迎えますが、なかなかあいさつがかえって来ず、さみしい思いをすることもあります。コロナ禍で、大きな声を出すこと、また、地域において、知らない人にあいさつをすることをためらう子どもたちもいるかもしれません。しかし、あいさつは、コミュニケーションの第一歩であり、また自分の身を守る行動にもつながります。学校や家庭だけでなく、地域でもあいさつができるよう、学校と家庭とで声かけをしていきたいです。

## 【来年度について】

○日課表を見直し、授業時間を弾力的に使えるようにします。例えば、これまでの45分授業だけでなく、5時間目を二つに分け、「45分と20分」「65分連続で行う」などして活動することができ、学習内容に合わせた授業をより組み立てやすくなり、子どもたちが集中して学習にと取り組むことが期待されます。

○教科担当制、専科、ニコニコルームや国際教室などの特別支援の充実を図り、多くの目で子どもを見守り育てます。

○子どもたちの思いを大切にして、新しいものを創り上げていく努力を続けます。

